



国立大学病院
臨床研究推進会議
National University Hospital
Clinical Research Promotion Initiative

国立大学病院 臨床研究推進会議



国立大学病院間の情報共有や連携を通じて、
質の高い臨床研究の実施体制を整備し
新規医療技術の開発や既存技術の
最適化に貢献する

国立大学病院 臨床研究推進会議

〔2012年10月設立
国立大学病院42大学44病院で構成〕

革新的医療技術
創出拠点

地域
ネットワーク

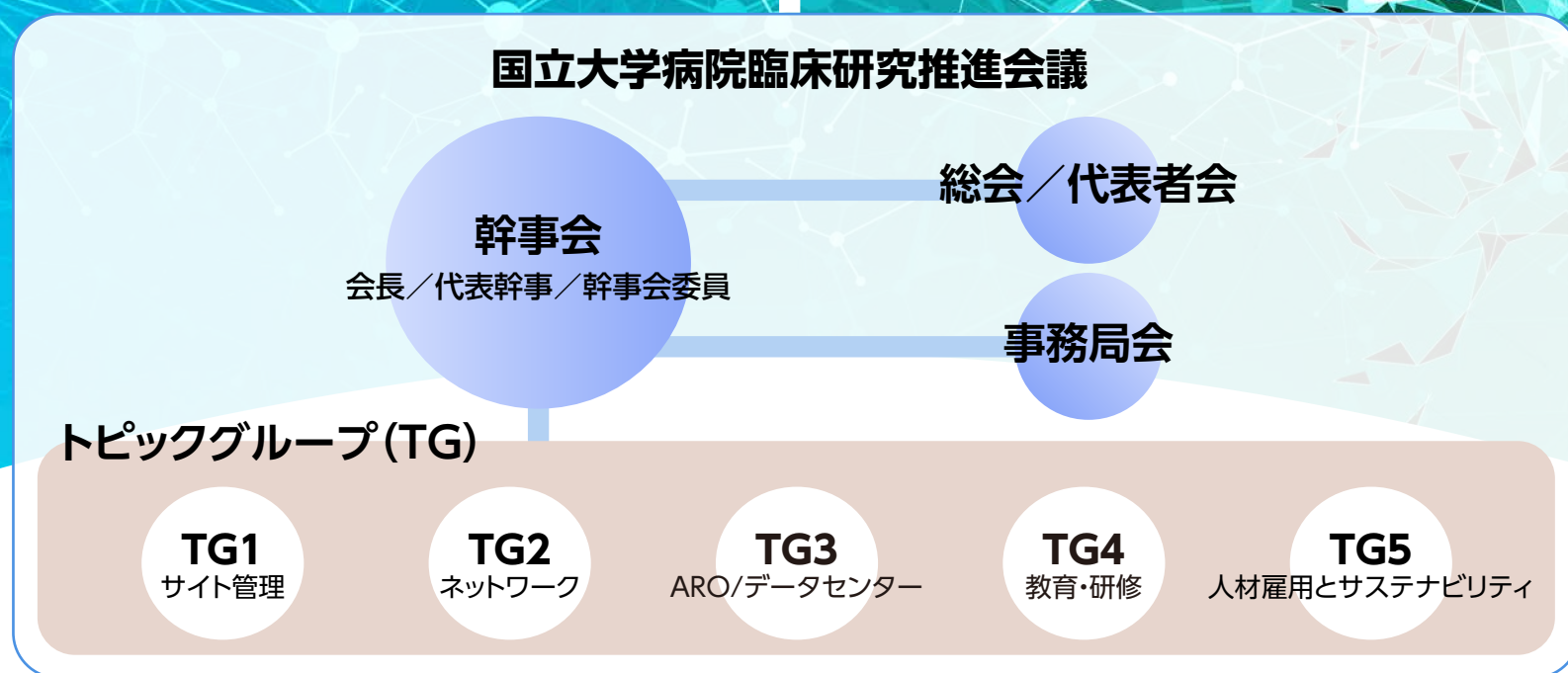
国立大学病院
データベース
センター

国立大学
病院長会議

文部科学省等



国立大学病院長会議(研究担当)



設立の経緯と概要

会員：全国国立大学病院42大学44病院 事務局：東京大学
(平成24年10月設立、平成25年6月国立大学病院長会議の協議会として承認)

設立の背景

- 大学間に格差がある(情報共有、支援組織、研究者・支援スタッフの育成) → 質の高い共同研究が効率的にできない。
- 希少疾患や難病の臨床開発の大学病院への期待が高まっている。 → 1大学では困難。大学病院(特定機能病院)のネットワークが必須である。研究者や支援スタッフの人材育成が必須

目的

- 国立大学病院における臨床研究の推進に係る組織が、情報共有や連携を通じて、質の高い臨床研究の安全かつ効率的な実施体制を整備し、新規医療技術の開発や既存技術の最適化に貢献する。
- 国立大学病院長会議と連携を図り、将来像の実現を目指す。

全国国立大学病院(42大学44病院)で構成 臨床研究推進のための様々な活動のプラットフォームとして機能

- 大学間の情報共有
- 臨床研究の推進
- 教育・研修における連携
- 病院長会議(常置委員会研究担当)との連携による将来像実現化※

※将来像実現化：①研究倫理遵守の徹底と臨床研究の信頼性・安全性の確保、②臨床研究に係る人材の育成と研究マインドを向上させるシステム構築、③先端医療の研究・開発推進のための人材確保と基盤の整備、④ネットワーク化推進と国際的競争力を有する新医療技術の開発促進、⑤国立大学病院の臨床研究に関する情報を広くわかりやすく発信

5つのトピックグループ(TG)を立ち上げ活動

- ①TG1 サイト管理 ②TG2 ネットワーク ③TG3 ARO／データセンター ④TG4 教育・研修
⑤TG5 人材雇用とサステナビリティ

